

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用目的及び利用方法	研究の名称 Deep learning を用いた読影補助機能の有用性に関する後ろ向き研究。
	研究の対象 2021年2月から2021年6月の間に「HAMA-RAD ネットワークセンター」において読影業務を行った方。
	研究の目的 CT や MRI といった画像診断機器の発展は目覚ましく、臨床においてかかせない診断ツールとなっています。2015年のOECDの報告によれば日本のCT、MRI台数はOECD平均値と比較してそれぞれ4.1倍、3.1倍と突出して多いとされています。その一方で、本邦の放射線科医数は100万人当たり36人と26カ国平均の1/3程度であり、診断装置が多い状況と相まってその仕事量は世界平均の4.3倍と報告されています。また、画像診断における誤診・見逃しに関して検討した報告では、時間当たりの読影数が多いほど見逃しのリスクが高いと報告しており、放射線科医の負荷軽減は画像診断におけるエラー（特に見逃し）の減少、ひいては患者の適切な治療において非常に重要な課題です。 昨今のArtificial intelligence (AI)の発展は画像診断領域に大きな革新をもたらしています。その一つがDeep learningを活用した診断補助機能であり、既に臨床機に実装されています。本研究では、Deep learningを活用した診断補助機能が、実際の読影業務において与える影響を後ろ向きに検討することを目的としています。
研究の期間	

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>研究機関の長による実施承認日から（西暦）2023年8月まで</p>
	<p>他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p>
<p>利用し、又は提供する試料・情報の項目</p>	<p>研究に使用する試料・情報 情報：年齢、性別、読影年数、読影種別、読影部位/範囲、読影時間、読影内容、再読影の有無等</p>
<p>利用する者の範囲</p>	<p>機関名および責任者名 浜松医科大学 棚橋裕吉 合同会社 HAMA-RAD ネットワークセンター 橋本 毅</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>浜松医科大学 医学部附属病院放射線科診療科群 棚橋 裕吉</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自身の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望され</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>ない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目20番1号 浜松医科大学</p> <p>部署名： 医学部附属病院放射線科診療科群</p> <p>担当者： 棚橋 裕吉</p> <p>TEL： 053-435-2242</p> <p>E-mail： ytana@hama-med.ac.jp</p>